

CFOからのメッセージ



持続的な成長と収益性の向上を
確かなものとし、広く信頼される
DXパートナーとなるべく
変革に邁進していきます。

CFO / 執行役員常務
磯部 武司

「形を変える」「質を変える」取り組みの進展

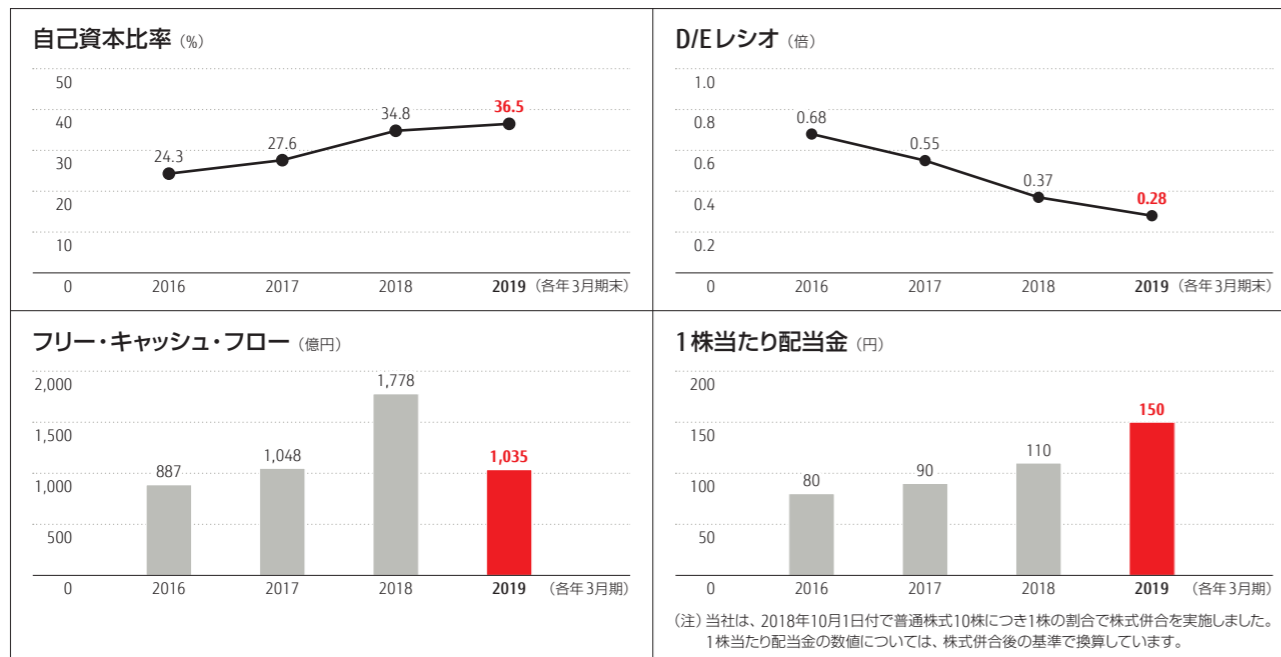
2019年3月期までの4か年、当社グループではコア事業へのフォーカスを進める「形を変える」取り組み、成長を加速する「質を変える」取り組みを進めてきました。

このうち、「形を変える」取り組みについては、コアビジネスと位置付けるテクノロジーソリューション事業への経営資源の集中を進め、2019年3月期の連結業績は構造改革費用など特殊事項を除いた本業ベースでは前期から341億円の増益を達成、中でも、デジタルビジネスの中核を担う国内サービス事業は大変堅調に推移しました。

また、財務体質の強化も進み、2019年3月期末時点の自己資本比率は36.5%となり、4期前の2015年3月期末から12ポイント以上改善、フリー・キャッシュ・フローは3期連続で1,000億円を超え、増配など株主還元にもつなげることができました。

リスクファクターやボラティリティといったネガティブな要素を排し、安定的な経営基盤の整備にも一定の成果をあげることができたと考えています。

ここからは、さらなる収益性の向上と持続的な成長につながる「質を変える」取り組みに軸足を移し、2019年9月



発表の経営方針で掲げた経営目標である2023年3月期の売上収益3兆5,000億円、営業利益率10%の必達に向け、一層のスピード感をもって変革に取り組んでいきます。

収益性向上のポイント

収益性向上を実現するためのメインエンジンは、やはり、強固なビジネス基盤を持つ国内サービスです。

国内サービスの売上規模は2019年3月期で1兆8,000億円近くに上り、足元の需要も大変強い状況が続いています。お客様のビジネス変革への取り組みや業務効率化に向けたモダナイゼーションなどへの関心や意欲は強いものがあると感じます。

こうしたことも背景となり、SEなどサービスのデリバリーリソースは不足傾向であります。お客様のニーズや期待に応えるためにも、グローバルデリバリーセンターを拡充しオフショア拡大のためのリソースプールとして戦略的に活用、さらに、開発や運用の自動化を進め生産性の向上を図ります。このような施策で国内サービスの着実な収益性向上を図ることに加え、さらなる利益拡大のプースターと考えているのはネットワーク事業と海外事業です。ネットワーク事業は5G本格化を大きなビジネスチャンスとして捉え、また、海外事業については、現在進めている欧州の構造改革を2021年3月期上期中に完了させ、サービスビジネスへの転換を着実に実行、健全な収益基盤を確立します。

持続的な成長に向けてシフトチェンジ

収益性の向上と並んでもう1つの柱である持続的成長に向けたキーワードはDXビジネスです。

DXビジネスの本格化に向け、この領域を牽引する新会社を設立します。また、これ以外にもDXに関するビジネス機会の創出と新事業推進に向けた成長投資を加速します。

1つ目はAIや5G、サイバーセキュリティといったDXビジネスを支えるテクノロジーへの重点投資、2つ目は新規事業創出に向けたM&Aやコーポレートベンチャーキャピタルへの投資です。これらの成長投資を積極的に行い、スピード感を持って新事業の育成や拡大につなげていきます。

もちろん投資の回収管理は非常に重要です。DXに関するテクノロジーへの投資は従来のハード開発投資や工場などの大型設備投資に比べると回収サイクルが比較的短期間となる性質を持ちます。積極投資を進める一方で、投資効果のモニタリングはこれまで以上に精緻に行えると考えています。持続的な成長に向けてシフトチェンジをしていきますが、一方で、冷静にコントロール、バランスをとるのがCFOの役割だと考えています。

信頼されるDXパートナーとなるために

また、お客様から信頼されるDXパートナーとなるためには、富士通自身がDXに率先して取り組むことも大変重要です。様々な業務プロセスや企業内の情報、特に定量的なデータはすべからくファイナンスに関わります。社内のDX推進に向けた情報システムや制度・プロセス改革はCFOの重要なミッションの1つと捉えており、この刷新を進めていきます。

当社グループは、社会に不可欠なインフラを提供する役割を担うとともに、社会に新たな価値を提供する大きな潜在力を持っています。こうした当社グループが持つ価値に対するご理解や適正な評価をいただくには、ステークホルダーの皆様との対話やIRの充実も極めて重要であると理解しています。

持続的な成長と収益性の向上を確かなものとし、広く信頼されるDXパートナーとなるべく変革に邁進していきます。

キャッシュ・フローの創出と配分

単年度で1,500億円以上の安定的なフリー・キャッシュ・フロー創出を目指す

キャッシュ・フローの配分

- 成長投資 DXをコアとした成長投資の推進
- 株主還元 安定配当をベースに成長ステージに即した株主還元
- 財務体質 社会インフラを支える企業にふさわしい強固な財務体質

